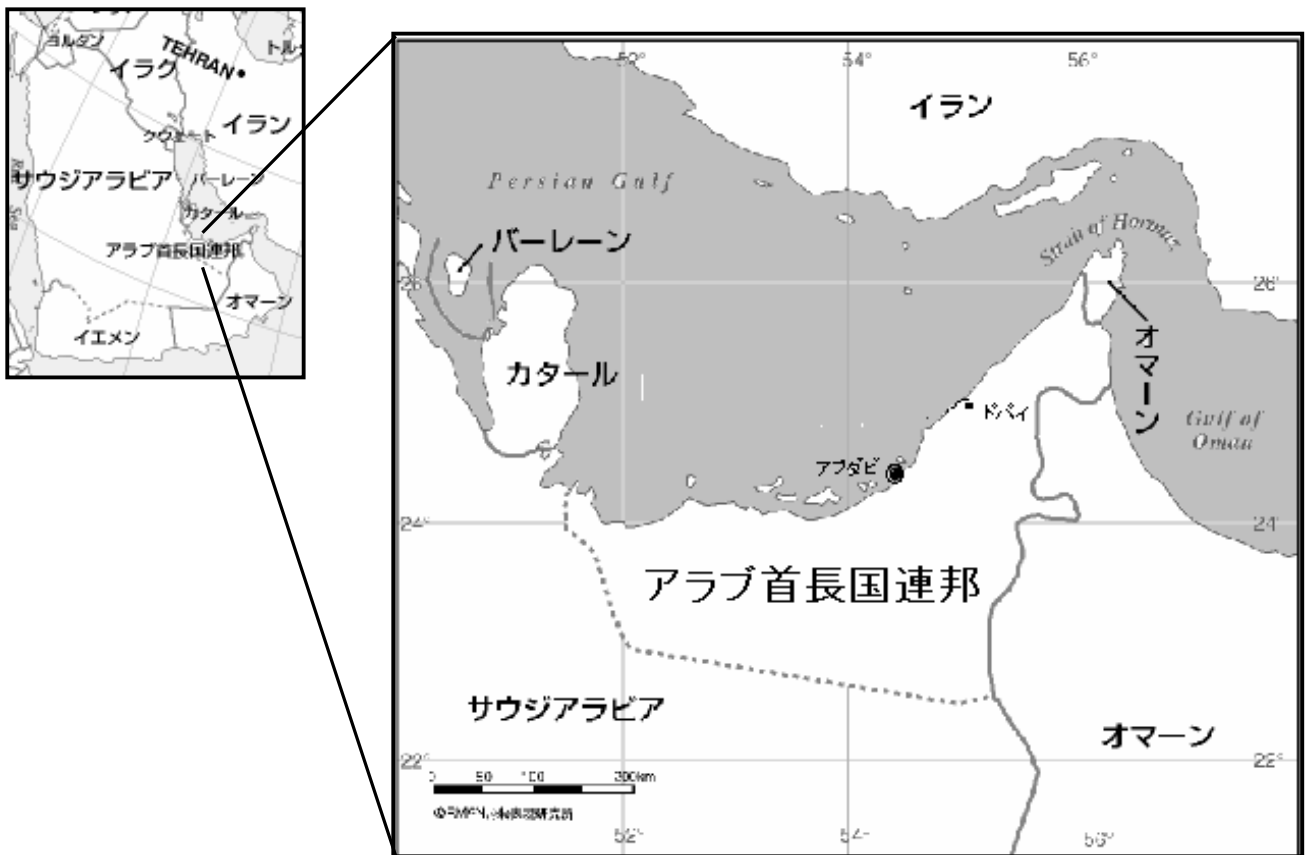


アラブ首長国連邦概況



【基礎データ】

(1) 面積	83,600km ² (日本の約 4 分の 1。北海道とほぼ同じ大きさ)
(2) 人口	404.1 万人 (03 年) うち UAE 人は約 2 割
(3) 言語	アラビア語
(4) 人種	アラブ人
(5) 宗派構成	イスラム教
(6) 政体	7 首長国による連邦制 (首長国: アブダビ、ドバイ、ラース・ル・ハイマ、シャルジャ、フジャイラ、アジュマン、ウンム・ル・カイワイン)
(7) 元首	シェイク・ハリーフ・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン大統領殿下 (アブダビ首長国首長)
(8) 議会	立法権のない連邦国民評議会 (各首長の勅撰により任命される 40 名、任期 2 年)

(9) 政 府	首相：シェイク・マクトゥーム・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム殿下（連邦副大統領、連邦首相、ドバイ首長国首長） 外相：ラーシド・ビン・アブダッラー・アル・ヌアイミ
(10) GDP	851 億ドル（04 年）
(11) 所得水準（一人あたり GNP）	19,691 ドル（04 年）

1.内政

(1) 政治

- (イ) 71 年の連邦結成以来、卓越した指導力を発揮した故ザード大統領（前アブダビ首長）が 6 選 32 年にわたり統治。各首長国は独自の行政府を持ち、独自性を保ちつつ緩やかな連邦を形成。
- (ロ) 96 年には、これまで暫定であった連邦憲法が恒久化されるとともに、暫定首都とされていたアブダビが正式に連邦首都とされた。
- (ハ) 2004 年 11 月 2 日、ザード大統領が逝去、長男のハリファ・アブダビ皇太子（1947 年生）がアブダビ首長に就任し、翌 3 日、連邦最高評議会においてアラブ首長国連邦大統領に選出された。

(2) 経済（04 年データ）

- (イ) GDP 851 億ドル（一人あたり 19,691 ドル）
- (ロ) 総貿易額 輸出：732 億ドル
輸入：580 億ドル
主要貿易品目 輸出：原油・石油製品、アルミニウム、再輸出品（電化製品等）
輸入：自動車、機械類、電気機械、鉄鋼、繊維・織物製品
- (ハ) 原油生産量 2,470 千 B/D（04 年）

2.外交

(1) 基本的外交姿勢

- (イ) アラブ・イスラム諸国及び西側諸国と保守穏健かつ協調的な外交を展開。
- (ロ) 71 年以来イランが占領している三島（アブー・ムーサ島、大小トンプ島）の返還が重要課題の一つ。ア首連は紛争の平和的解決を方針とし、国際司法裁判所への付託をイランに呼びかけているが拒否されている。

(2) 近隣諸国との関係

【イラン】

連邦結成 2 日前の 1971 年 11 月 30 日、当時の帝政イランが、アブー・ムーサ島（シャルジャ首長国領）、大小トンプ島（ラアス・ル・ハイマ首長国領）の 3 島を軍事占領。ザード大統領は 80 年、本件を平和的に解決する旨宣言、94 年には本件紛争の国際司法裁判所（ICJ）提訴を呼びかけたが、イランはこの呼びかけを拒否、3 島はイランに帰属するものとの立場を維持。ハタミ大統領は、本件は二国間の対話によって解決されるべきとの立

場。イランとはハイレベルでの接触を維持している。

【イラク】

湾岸戦争に際しては多国籍軍の一部として対イラク参戦。ただし安全保障上、イランとのカウンターバランスとの観点から GCC 諸国中イラクに最も同情的であり、イラクが国連諸決議遵守すべしとの立場をとりつつも、国連制裁早期解除を訴えていた。先般の対イラク軍事行動に際しては、フセイン政権指導部の退陣を求めるイニシアティブを打ち出したほか、「半島の盾」軍として軍隊の一部をクウェイトに派遣した。バグダッド陥落前後から赤新月社等を中心にイラク国民に対する各種人道支援を実施している。

(3) 欧米諸国との関係

- (イ) 湾岸戦争以降、米国との関係強化が進み、94 年防衛取極締結、98 年にはハリール・アブダビ皇太子（現大統領）が米国を公式訪問。
- (ロ) 91 年の仏を皮切りに、96 年には英とも防衛協力協定締結。（現在、独との間でも軍事協定締結交渉が行われている。）
- (ハ) 03 年には 22 年ぶりにドイツのシュレーダー首相が来訪。04 年ハムダーン副首相兼外務担当国務相が独を訪問するなど、様々な分野で二国間関係の強化も進んでいる。

3.我が国との関係

(1) 概況

我が国は、UAE 独立宣言翌日の 1971 年 12 月 3 日に連邦を承認し、1973 年 12 月に在日アラブ首長国連邦大使館が、翌年 4 月に在アラブ首長国連邦日本大使館が開設された。在ドバイ総領事館は 1995 年 1 月に設置されている。

(2) 要人往来

- (イ) 我が国からは 1995 年 1 月、皇太子・同妃両殿下が日本の皇室としては初めて当国を御訪問されたのをはじめ、過去には 1978 年 1 月園田外相、1978 年 9 月福田総理、1992 年 1 月渡部通産相、1999 年 4 月与謝野通産相など閣僚クラス約 20 名が訪問している。1996 年 12 月の建国 25 周年記念式典には高村外務政務次官が出席。近年では河野外相（2001 年 1 月）、平沼経済産業相（同 7 月）、橋本総理特使（同 10 月）、川口外相、中谷防衛庁長官（ともに 02 年 5 月）、谷口財務副大臣（同 6 月）、山崎自民党、冬柴公明党、二階保守新党各幹事長（03 年 4 月）、川口外相（04 年 1 月）、川口特派大使（前外相。04 年 11 月、ザイド大統領逝去弔問）、逢沢外務副大臣（05 年 4 月）の訪問がある。
- (ロ) ア首連からは 1990 年 5 月のザイド大統領が国賓として訪日したのをはじめ、1970 年 8 月（連邦独立前）にアブダビ首長国のハリール皇太子（大阪万博出席）、2004 年 4 月にハムダーン副首相兼外務担当国務相が訪日している。なお、ザイド大統領の訪日を機に両国の文化交流に役立てるための「ザイド基金」が設立された。

(3) その他の交流組織

民間組織として日本アラブ首長国連邦協会があり、ザード基金の管理・運営及び会員の法人企業からの年会費を予算として、協会誌の発行、大使館事業への協力等を行っているほか、02年6月7日には友好議員連盟が設立された。

(4) 大阪府・ドバイ市友好協定

02年10月29日、ドバイを訪問中の太田大阪府知事により調印が行われた。

(5) 経済

(イ) 我が国の対ア首連貿易

貿易額(03年JETRO発表)輸出:36.2億ドル 輸入:142.8億ドル

主要品目 輸出:機械類(約76%)、家電製品、鉄鋼等

輸入:原油・石油製品、石油ガス、金属類

(ロ) 原油輸入

原油総輸入量の23.8%をア首連から輸入(968千B/D、02年石油連盟統計。サウディに次いで2位。85年より00年までは第1位)。我が国の安定的石油供給源として最重要国。

(ハ) 在留邦人

ア首連に在住する邦人数は1,615名(アブダビ530名、ドバイ1,085名。04年10月現在)で、アブダビ、ドバイそれぞれに日本人学校があり、日本人会も組織されている。連邦進出日本企業数は139社(アブダビ25社、ドバイ地域114社(04年10月現在))が進出している。

(ニ) 直行航空便

02年10月1日よりドバイ=関西空港間のエミレーツ航空直行便が就航し、04年3月から週7便に増便されている。04年4月の航空協議によって週15便までの増便(05年夏からは21便)とイッティハード航空等の新規参入及び中部空港への乗り入れが可能となった。